

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 青木 和夫

平素は、滋賀県信用組合（けんしん）に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ディスクロージャー誌「けんしんの現況2026」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

日本経済は、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」とされており、人手不足や原材料高、賃上げが当組合のお取引先である中小規模事業者へ与える影響は大きく、経営環境は依然として厳しいものと考えられます。

こうした中、当組合においては、地域の皆様に信頼され存在感のある金融機関を目指し、令和7年度は第4次「経営強化計画」の最終年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性向上に向け役職員が一丸となって「新たな挑戦」を合言葉として取組んでまいりました。

その結果、貸出金は引き続き期末残高・期中平均残高ともに前期比増加しました。他方、預金積金について金利上昇に伴う他行との競合により減少しました。

金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は468百万円、当期純利益も322百万円を確保することが出来ました。組合員皆様のご支援に感謝を申し上げ、令和8年3月期の出資配当につきましても、10期連続で実施いたします。

今年度は「考動」というキーワードのもと、あらゆる「改革」に向けた「考動」を実践し、組合員の皆様に寄り添いご融資や経営改善支援等により金融仲介機能を高めていく中で収益力の強化を図り、役職員一丸となって目標達成に取り組むと同時に、地域と共に成長する金融機関として金融サービスの向上に努めてまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和8年7月

理事長 青木 和夫